



【北部方面総監初度視察受察】

平成30年3月15日

自衛隊札幌病院（病院長：上部陸将）は、3月15日（木）、北部方面総監（田浦陸将）の初度視察を受察した。

状況報告において、**病院長は「病院の診療支援実績」「救命ドクトリン具現化施策」「衛生運用のスパイラルな実効性向上施策」等について説明し**、総監は**「人的戦闘力を維持増進する役割の再認識」「部隊及び地域との密接な連携」「最悪をイメージした事態の対処要領の確立」の3点を要望した。**

また、活動報告では、医療・サービスの品質向上及び利用者と勤務者の満足度向上に向けた取り組みであるTQM（Total Quality Management）活動の状況（看護部中央材料室の医療器材滅菌管理要領の改善策、衛生資材課の医療資材誤発注の防止策）を直接確認した。

更に、院内巡視においては、准看護学院生の**「臨床実習の振り返り」**の場を実視し、看護技術を向上させるのみならず傷病者に寄り添う心の持ち方も深める学生の姿を確認した。

総監は訓示において**「開院3年目の新病院をさらに充実・発展させるとともに、各部隊の人的戦闘力の維持向上を適切に支援し、方面隊内で最高の医療を行うという役割を果たすべく務めてもらいたい」と要望するとともに、「『最も強く、最も頼もしい北部方面隊』を目指して共に汗を流す！」と述べ、**隊員と固い握手を交わし本院を後にした。



病院長による状況報告



状況報告を受ける総監



活動報告(TQM活動成果発表(看護部))



総監からの
固い握手と激励



准看護学院の実視（臨地実習指導）



総監訓示



記念撮影